

# あと1カ月、2012年日本平和大会 in 東京を 首都圏、全国から多数の参加者で成功させましょう！

2012年10月22日 2012年日本平和大会実行委員会

「平和な日本とアジアめざす大きな流れを 首都・東京から 一 米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本めざして」をテーマに開かれる 2012 年日本平和大会（11 月 23-25 日）まであと1カ月になりました。大会は、日本の現状に疑問や憤りをもつ人々とともに、異常な日米関係をただし、米軍基地も軍事同盟もない平和で安全な日本をつくる展望について、学び交流しあう大会です。

今年の大会は、特に次のことを重視して準備されています。

1つは、沖縄と全国のおスプレイ配備・訓練反対の運動の一大交流です。

県民ぐるみの反対を無視した欠陥機おスプレイの「世界一危険な基地」普天間基地への配備と傍若無人の飛行は、沖縄県民の「人間の尊厳」に対する挑戦です。そのさなかに起こった米兵による女性暴行事件とあいまって、沖縄県民の怒りは頂点に達しています。また、全国でのおスプレイの低空飛行訓練計画に対しても、123 を超す自治体が反対決議をあげているように、自治体・住民ぐるみの反対運動が広がっています。こうした運動を全国から持ち寄り、交流し、運動をさらに大きく発展させる大会にしたいと思います。

また、横田、横須賀はじめ全国の米軍基地に反対してたたかう住民代表や、米兵犯罪被害者の方たちも参加し、ともに米軍優先の日米安保体制の異常を告発します。最終日には、在日米軍司令部のある横田基地にむけて、「おスプレイ NO！ 横田基地撤去」の声をぶつけるピースパレードも行います。

2つ目は、日本とアジアの平和を実現する展望を学び、深める大会です。

一方では、尖閣諸島問題や竹島問題など領土問題をめぐる緊張の高まりで、こうした問題をどう解決し、周辺国との平和の関係をつくっていったらいいのか、関心が高まっています。同時に、これを利用した日米軍事同盟の強化や憲法改悪をめざす動きも、民主、自民、「維新の会」などの反動的競い合いの中で、強まっています。

こうしたなかで、広範な人々の関心にこたえ、日米軍事同盟強化ではなく、憲法にもとづく平和外交でこそ、日本とアジアの平和を実現ができることを示す大会にしたいと思います。特に、国際シンポジウムは、「アジア太平洋の平和をどうつくるか」を正面から議論します。紛争の平和的解決をめざす ASEAN 代表の講演も予定されています。

3つ目は、核兵器廃絶や原発ゼロめざす運動、TPP 参加推進、消費税増税・社会保障改悪反対など、平和、いのち、くらし守る様々な運動が合流し、その要求を実現するためにも、アメリカいなる異常な日米関係を正し、日米安保条約を廃棄することが重要であることを、学び、討論する大会です。そのために、多彩なテーマの分科会を準備しています。

開催地東京では 14 の地域に実行委員会がつくられ、成功に向けとりくみがすすめられています。青年も基地調査や学習会などを重ねて青年集会を準備しています。

いま、安保条約にしばられた道を転換することが、あらゆる分野で問われています。首都東京で開かれる 2012 年日本平和大会を、首都圏と全国の多数の参加で成功させ、「米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本」への大きな流れをつくりましょう。そのために、各団体、全国で、参加者の輪をさらにさらに広げていただきますよう、心からよびかけるものです。